

新婦	E
08	a
	/

婦人部資料ヨリトス
参考資料ヤニ五五

一九五三年の婦人の動き

栃木 婦人少年室長殿

栃木省婦人少年局 婦人課

栃木 婦人少年室
收婦第 21 号
29.2.1

婦人

一九五三年の婦人の動き

(一九五四年一月三十日)

一月

。厚生省の依頼により東京都民生局が一九五二年九月に行った都内母子世帯の調査がまじまり、四万三千世帯の母子世帯があり、その殆どが苦しい生活をしていくことがわかった。

衆議院議員戸叶里子氏はエア・レーで行動したア・ジ・ア社会党大会に出席した。中共引揚促進のため、衆議院議員高良とみ代を含む使節団が二十六日に北京へ向かい、高良とみ代は一九五二年に旅券を死してソ連へ行ったことから、今回は旅券を交付しないといわれ最後までもれた。

二月

。東京女子大学でバスターメントをかけた生徒を停学処分にした。
小説家吉屋信子氏が婦人公論二月号から「吉田首相を囲んで」という座談会で

「自分の息子をたんで国の盾に捧げることには誇を感じなければ」といふ
この言葉が平和を願う女性、心持に及しているといつて問題になった。

主婦教育連盟（会長東京教育委員柴田貞子）が結成された。

朝日文化賞を受けた阪大の黒津教授が記念講演の席上、「自分も二十年来毒を
りたりぬるひまがなかつたが妻の内助は大きかつたことに改めて気がつい正
といふ、學者の妻の内助の功が強調された。

三月

三日、虎春等処罰法案が宮城タマヨ、伊藤修、岡部常、金丁、洋文、斎武雄氏
等の議員提案によりオ十五国会の参議院に提出された。

七日、全国地域婦人団体連絡協議会、主婦連合会、婦人有权者同盟等は、ハ
イアライ法案反対全婦人団体協議会を結成し署名運動等の活動をはじめた。

十日、オ五回オ流文学賞が大谷藤子氏受賞と決つた。

。十四日、国会解散のため、先春算処罰法案、ハイアライ法案とともに棄案となる。
。アメリカ、ニューヨーク國連本部における國際連合婦人の地位委員会に労働
省婦人少年局長藤田たけふが日本政府オブザーバーとして出席。

。婦人団体連合会へ会長平塚らいてう、副会長高良とみへが結成された。

。農林省主催で生活改善実績発表会が東京に於て行われ、全国農家の生活改
善グループの主婦代表二七〇名を含む約五〇〇名の婦人が出席した。

。中共からの集団引揚げにより、中共における婦人の地位の実態がほぼ明らか
になった。

。労働省婦人少年局の依頼により「風紀に關する世論調査」を而立世論調査所
が実施した。

四月

。一日、母子福祉資金貸付法施行

。衆議院總選挙と参議院半数改選の選挙運動が行われ婦人団体のあるものは普

年因等とともに公明選挙運動を展開した。

。終戦後に生れた混血児ばかりで小学校に入學した。

。十日ー十六日 婦人週間が自主性の確立を目標として行われ、芳村省及び

朝日新聞社共催で全日婦人会議、婦人週間中央大会などが催された。

へスロトガン「うばし」そう 自分で考え行動する力」

。婦人週間に当り婦人少年局及びユネスコ国内委員会の招聘によりユネスコ本

部社会科学部長ミルダール博士が来日し、東京 京都 大阪 奈良 仙台の名

地で婦人の自主性について講演を行い、又各界有識婦人と意見と交換した。

。一九五二年十二月に行方不明となつた東大附属病院で不計博士夫人看子氏

の自殺死体が発見され、夫が仕事に没頭して家庭をかえりみなかったため

はなつかといわれ学者の家庭のあり方について論議をかもした。

。東京理大卒の富平静代氏は女性として戦後はじめて無線二級技士となり、ア

マチュア無線局の免許をうけた。

。十九日、衆議院総選挙の結果、婦人議員が一九名当選した。

大石ヨシエ(右社) 神直 市子(左社) 堤 ツルヨ(右社) ヤ叶里子(右社)

中山 マサ(自) 萩元たけ子(左社) 福田 昌子(左社) 山口シズエ(右社)

山下 春江(改)

二十三日 参議院半数改選の結果、婦人議員が一〇名当選した。

赤松 常子(右社) 安部キミ子(緑) 市川 房枝(重) 奥 むめお(緑)

高良 とみ(緑) 西岡 ハル(自) 長谷部玄子(重) 宮城タマヨ(緑)

最上 英子(改) 横山 フク(自)

参議院婦人議員は合計十五名となった。

。年度末教員異動にともない婦人校長に選取をかん告したり停年を男より低くしたりして差別する傾向が現れ山梨県をはじめとして各地の婦人団体が日教組婦人部とともに反対運動を起した。

三月

。参議院議員中山マサ氏(自)が厚生政務次官に就任した。

アメリカのW・L・L・婦人の際平和自由連盟)代表、ウォルサー夫人がバリの
大会に出席の途上来日した。

九州(大分県大分市)のエリザベス・ヒルサ史が日本の看護事業現案に
日した。

エリノア・ワイルズ・ズベルト夫人が日米知的交流計画により来日し、各地で講演
を行つた。

京都大学法学部に初の女性講師として当大卒業生の桂静子氏が決定した。

日本婦人大会が婦人団体連合会等の主催で開催され、六月にコペンハーゲン
で行われる世界婦人大会出席の代表について話し合った。

石川県内灘村の墓地反対に、県婦人団体が運動した。

三十一日、中三回全小の学校婦人校長会議が横濱で開催された。

六月

婦人経済連盟理事長、竹内邦恵氏の事業破たんと失踪が伝えられた。

。母子福祉資金貸付法制定記念大会が東京で、全日本士人団体協議会幹事主催により行われた。

。駐留軍施設周辺の風紀対策が日米合同委員会でも合意され、次官名で通達された。
。デンマーク・リベンハーゲンにおける在留婦人大会に日本から左の十人が出席した。

参議院議員 島田好孝子

こどもを守る会 羽に諾子

長崎県議会議員 村上とく

婦人団体連合会 浜田多衛

日教組 千代子代世

職維統一委員会 宮城富士子

北海道代表委員 小笠原貞子

東北代表福島県児童福祉主事 蘆森千枝

画家 赤松俊子

自治労連 島橋しづ江

七月

。アメリカ婦人権者同盟前会長アンナ・ホード・ストラム女史がアメリカ大使館の日本人物交流計画により来日した。

。才十六回会参議院法務委員会に売春対策小委員会ができた。委員は

郡 祐一、加藤武徳、小野義夫、赤松常子、柳見義男

龜田得治、一松定吉、宮城タマコ

。大養法務大臣は参議院予算委員会で、加藤シズエ、藤守道子氏らの質問に答
え、「売春に關するものは、もう黙認主義は限りに来た」と述べた。

。『風紀に關する』を論調査の結果が発表された。

。オーストリヤ・ウィーンで開かれた世界教育者會議に、前日教組婦

人部長高田はおり、現日教組婦人部長千代世氏等が出席した。

。パリ西立音楽院卒業コンクールに山根弥生子氏が一等となった。

。ファッションモデル伊東絹子氏がアメリカで行われたミス・ユニバースコン

テストに才三位となった。

。フランスのピアリッツとスペインのバムブロナで開かれた、岡際氏俗音楽舞踊

祭で花柳美園氏が才一位になった。

八月

。労働省婦人少年局では一日から三十一日まで「働く婦人の健康を高める運動」を展開した。

。労働省婦人少年局は八月、九月の二ヶ月にわたり「赤春防止特別運動」を展開した。

。日鉱主婦会が首切り反対デモを行った。

。岡山市赤春取締條例が制定、公布、施行された。

。日鉱主婦連合会結成大会が東京参議院会館で行われた。

。労働省婦人少年局では「働く婦人の家」を神奈川県と福岡県に建てることに決めた。

。全国高校家庭クラブ連盟が結成された。

。イギリス、エジンバラで行われた第八回国際家政学大会におき、水女子大の成田順、松平友子教授が出席した。

。スエーデン、ストックホルムで開催された家族計画会議に日本産児調節連盟が

表として日本看護協会福岡支部長眞島チモ氏が出席した。

。参議院議員紅露みつ氏は戦犯釈放謝意表明及び各国政治経済事情視察の議員団に加つて東南アジアを視察した。

。衆議院議員山下春江氏は引揚委員会委員長として、スイスジュネーブの国連捕虜特別委員会に出席した。

。衆議院議員大石コシエ氏はストックホルムで開かれた万国議員連盟会議に出席した。

九月

。津田塾大学教授近藤いね子氏は女性として初めての文学博士になった。

。北海道千歳町凡紀取締条例改正案が議決された。(十月一日施行)

。東京で行われたアジア卓球選手権試合に日本女子チームが団体で優勝した。

。キンゼイ報告女性編がアメリカで発表され、女性の性生活について日本でも議論をかもした。

。インドの婦人議員ミナが吉田首相の招きにより来日し、関東、関西の各地を視察し、婦人少年局等の他の主催による会合において、日本婦人有識者と意見

交換した。

。生活協同組合連合会、婦人団体連合会、母の会などが、衆議院第一議員会館に集り米価値上反対運動をすることに決定した。

。横山香子氏は女流随行者として戦後ばかりで事業航空士の試験に合格した。

。歌舞伎俳優市川右太衛門氏が既に三子ある内縁の妻千代さんと正式結婚して封建的なこの社会に一石を投じた。

。東京、日比谷公会堂で初りて女性指揮者（羽仁協子、久山恵子）による音楽会が催された。

。岐阜県売淫勸誘行為取締條例制定

。職業指導の専門家、エムの事へ婦人少年課員マーガレット・バーネック氏、史がオミエムのアジア地域会談に出席のため来日、東京、名古屋にて婦人会、労働婦人部等と対談や講演及び視察を行った。

○豊中市風紀取締條例制定

○八尾市風紀取締條例公布施行

○靜岡県風紀取締條例制定（施行は二十九年一月一日）

○看護婦 藤本まさ子 加藤きん 山田タフ氏がフローレンス・ナイチンゲール章を授けられた。

○十四日、大藏法務大臣が参議院憲法対策小委員会において「憲法取締法案を次期通常国会を目ざして政府として提出するよう努力する」と発言した。

○エネスコより日本婦人の地位調査の後、ベルギー、ルーヴレン大学教授ル・アレイ女史とインド、カルカッタのデヴィッド・ヘア師範大学教授スハシゴトシエ女史が派遣されて来日した。

○スウェーデンの哲学博士でもと國際婦人連盟会長のハンナ・リウダ女史がインドにおける考古学調査の帰途来日した。

○映画女優田中絹代氏が初の女監督として仕事を始めた。

○聖友会教祖小谷キミ氏は赤い羽根募金を百万円横領した疑いにより檢察官に

た。

。冷水宮による農村の不況に乘じ人身売買の増加が伝えられた

十一月

。岩手省婦人少年局では十一月一日から十二月三十一日まで「婦人の職業意識を高める運動」を行った。

。東京保母の会が結成された。

。東京都福生町に養育取締條例が施行され、罰則が厳格であるという問題に
際した。

。本団お子氏が十流棋士として初めて実力五段に昇段した。

。参議院予算委員会では養護法務大臣は人身売買防止策について答弁し、
監視員をおくこと、人身売買防止資金を貸付けることなど答えていたと
言した。

。衆参婦人議員団が結成され、共通の目的をたりに今後協力する事になった。

。日本製婦人教育大会が教育方等の主催で開催された。

。東京株式会社で劇場に勤務する 客席係 案内係 出孔係 売店係 エレベーターがトルなどの女子従業員の停年を三十五才と決定した。

。戦災芸者のなか、八宮崎県で新たに株式会社芸能あっせん所を設ける為、当局に許可申請がなされ、婦人団体その他が反対運動を行った。

。警視庁人事課の高松春子氏は婦人として初めて警部補試験に合格した。

。婦人民主クラブ委員長柳田フキ氏はオーストリア、ウィーンで開催された世界平和社会談に出席した。

。主婦連合会が米の値上げ反対運動を行った。

。民生委員の改選が行われ、婦人委員の進出が著るしい。

。二十九日キリスト教婦人矯風会々長ガントレット恒子氏が死亡した。

十二月

。二日、全日本女子学生大会が港区赤坂公会堂で開催された。

。二日、参議院本会議で深川タマエ氏、加藤シズエ氏の質問に答へ、又養護
大臣と小坂芳初大臣が売春対策協議会を作ることを述べた。

。埼玉県松崎製糸の争議の際、女子従業員之父兄が会社側から呼出されて娘達
のストライキをやめさせるために、暴力に訴えて晩落させようとした。

。習手女子チームが東南アジアバスケット選手権を獲得した。

。日本婦人大会が婦人団体連合会、總評算の主催で港区公会堂で開かれた。

。主婦連合会では内松庵止運動を行った。

。A級戦犯として処刑された広田弘毅元首相夫人が死したとある心配をさ
せたりする目目であったこと、バ明らかになつた。婦道の鑑とか、封建的とかい
われた。

。売春問題対策協議会設置について次官会議決定及び閣議了解をみた。

。アイナ・メイ・クマガイが女史が教育功労者として勲五等瑞宝賞をうけた。

。小學校教員梅沢綾子氏は線路に落ちた教子子を身をもつて助けた功により紅
梅賞章を授けられた。

。和歌山刑務所で女囚の名に美容学校を開設した。

。行政整理による労働省婦人少年局縮小及対協試会が衆参婦人議員等の他有志婦人により結成された。

。米価審議会で二十九年度米価決定につき唯一人の女性審議員船田文子氏が消費者米価値上げに反対して奮闘した。

このほか年間を通じての主な動きとしては左のようなものがあげられる

。二度の選挙で、昔からの婦人運動の先覚者市川寿枝氏、神近市子氏らが議員を得たため、国会内の婦人議員活動が特に活発になった。

。元春禁止法制定促進委員会（キリスト教婦人矯風会、YWCA、地婦連、有教者同盟、友の会、婦人福祉施設連合会、各政党婦人部等三四団体参加）の活動及び各地方における風紀取締條例制定の為にそれぞれ地方婦人団体の働きがあった。

。駐留軍施設設置及対策に関する、内難村、浅岡山麓をほじり、富士山麓、美保

地区等、地元婦人団体が活発な運動を行った。

○各地域婦人団体や未亡人団体が母子福祉資金貸付の地方予算を獲得すること
及びその貸付の公平円滑な運用を要求した。

○いわゆる平和運動に婦人団体連合会、婦人民主クラブ等の婦人団体が参加し

ていた。

○地域婦人団体と農協婦人部、炭婦協、町内会婦人部等において役員、会員

作業などが重複する場合に調整するかについても悩みが同題となつて、未
だところが多い。

○農村婦人の間には食生活改善運動や貯蓄運動が行われ、貯蓄は目標額に近づ
き、好成績であつた。

○特に年末には全国的に経済団体が主導した新生活運動に主婦連合会等が協
力して虚礼廃止を叫んだ。

